

2019年6月9日(日)朝10:10～ 主の聖霊降臨日、役員会等
6月聖霊降臨日共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：本当に主がおいでになったときには (17節)

聖書：マタイ 7章21～23節

<口語訳>

新約聖書10～ 頁

マタイ 7章15～20節

<新共同訳>

新約聖書12～ 頁

マタイ 7章15～20節

<新改訳第3版>

新約聖書12～ 頁

マタイ 7章15～20節<塚本訳>

新約聖書85～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き
によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓あるいは説教と表現される箇所です。

◇本日は、**マタイ7:21～23**で、**マタイ7:13～14(狭い門・神のいのちの門・細い道)**を第1部とし、先週の箇所とで第2部と理解することが一般的です。**マタイ7:15～23**を偽預言者に反省注意書、**マタイ7:15～20**を偽預言者を識別する注意書とし、役割分担と理解する意見もあります(**SY師**)。

⇒「**裁くな**」(1)、「**求めよ、さがせ、戸を叩け**」(7)、「**黄金律**」(12)、「**狭い門・細い道**」とつづく流れからの「**御子イエス・キリスト様**」の使信は、「自分にしてほしいことをほかの人にもする」**「黄金律」**及び**マタイ7:24～25**の岩の上の建物(教会)を建てる知恵に集約される。

⇒偽預言者への識別力と洞察力が、必要です。天の父の御意を行うことが求められます。

本論；

◇本日、**マタイ書7章21～23節**から主の**使信**に **思い・心**をとめます。

◆**マタイ7章21～23節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様**が「**神の真の預言者**」の「**道**」を**進む**ように**求め**ておられと語ります。

◇**21～23節**；塚本訳◆『**主よ、主よ**』

「21 わたしに『**主よ、主よ**』と言う者が皆、天の国に入るのではない。わたしの天の父上の御心を行う者(だけ)が入るのである。

22 (最後の裁きの)かの日には、大勢の者がわたしに、『**主よ、主よ、(入れてください。)**』**『わたし達はあなたの名で伝道し、』あなたの名で悪鬼を追い出し、あなたの名で奇蹟を沢山行ったではありませんか』**と言うであろう。

23 その時わたしは、はっきり彼らに言おう、**『かってお前たちを弟子にした覚えはない。』****『この不届者、わたしを離れよ！』』と。」と、使徒**マタイ**は語っています。**

◇**21～23節**；「『**主よ、主よ**』と言う者が皆、**天の国に入るのではない**」が、**マタイ7:21～23**の鍵のことばです。

⇒「わたしに『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るのではない。わたしの天の父上の御心を行う者(だけ)が入るのである」と、「**御子イエス・キリスト様**」は、「天の父上の御心を行う者(だけ)が(天の国に)入るのである」と、宣言をなされたのです。

⇒「(最後の裁きの)かの日には、大勢の者がわたしに、『主よ、主よ、(入れてください。)]『わたし達はあなたの名で伝道し、』あなたの名で悪鬼を追い出し、あなたの名で奇蹟を沢山行ったではありませんか』と言うであろう」と、多くの人が「『主よ、主よ』と、祈るが、「天の国」には、遠い、そればかりか、主の名による伝道も、奇蹟も、主は知らないと言われるのです。

⇒「その時わたしは、はっきり彼らに言おう、『かってお前たちを弟子にした覚えはない。『この不屈者、わたしを離れよ!』』と、「**御子イエス・キリスト様**」は、「覚えていない、不屈者」と、言っておられます。

⇒正統派に属しているとか、真面目の性格が、偽の説教や牧会の保証にならないのです。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、何をして来たか、何を語って来たか、どんな関り方をして来たか、問題になさらないのです。

⇒「**黄金律**；だから、何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい。これが律法と預言書（と[聖書]の精神)である」や「**マタイ7:24~25**；24だから、以上のわたしの話を聞いてそれを行う者は皆、岩の上に家を建てた賢い人に似ている。25 雨が降って、大水が出て、風が吹いて、その家に襲いかかったが、倒れなかった。岩の上に土台があったからである」という神の知恵を生きること、「**御子イエス・キリスト様**」は、望んでおられます。

⇒主は教会の実態を示し、土台という霊的性格・神信仰を基盤にしていますから時代の流れにも耐える交わりが、大事です。

⇒①「(やさしい)羊の皮をかぶって来るが、内側は強盗の狼である」、②「(結ぶ)実で偽預言者はわかる」、「茨から葡萄が、薊(あざみ)から無花果がとれようか」と、偽者か本物か、その実、主の心を知って生きているかです。

結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓(説教)**の箇所です。
- ◇本日は、**マタイ7章21～23節**で、**マタイ7:13～14(狭い門・神のいのちの門・細い道)**を第1部とし、先週と今日の箇所を第2部と理解することが一般的で、**マタイ7:15～23**は、偽預言者に反省注意書、**マタイ7:15～20**を偽預言者を識別する注意書とし、役割分担と理解する意見もあります(**SY師**)。
- ⇒「**裁くな**」(1)、「**求めよ、さがせ、戸を叩け**」(7)、「**黄金律**」(12)、「**狭い門・細い道**」とつづく流れからの「**御子イエス・キリスト様**」の使信は、「**自分にしてほしいことをほかの人にもする**」**「黄金律**」及び**マタイ7:24～25**の岩の上の建物(教会)を建てる知恵に集約される。
- ⇒主の心を生きる、内住の主と生きるに尽きる。

⇒**黄金律** ; 「だから、何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい。これが律法と預言書(と[聖書]の精神)である」、

⇒**マタイ7:24~25** ; 「24だから、以上のわたしの話を聞いてそれを行う者は皆、岩の上に家を建てた賢い人に似ている。25 雨が降って、大水が出て、風が吹いて、その家に襲いかかったが、倒れなかった。岩の上に土台があったからである」

⇒ 主は教会の実態を示し、土台という霊的性格・神信仰を基盤にしていますから時代の流れにも耐える(**OA師**)と、語って下さいました。